

主要損害保険会社の令和3年3月期決算の概要

1. 損益の状況（連結）

- 正味収入保険料は、国内事業では自賠償保険の料率引下げ等により減収したものの、海外事業での料率引上げ等により、前年に比べ増加。
- 親会社株主に帰属する当期純利益は、国内事業での自然災害（雪害、福島県沖地震等）に関する保険金支払いの発生や、海外事業での新型コロナに関係する保険金支払いの発生等が、自動車事故の減少等による保険金支払いの減少を上回り、前年に比べ減少。

（単位：億円）

	平成31年3月期	令和2年3月期	令和3年3月期	前年比
正味収入保険料	98,031	99,976	100,310	334
経常利益	9,061	7,140	7,883	742
特別損益	▲ 385	▲ 1,702	▲ 1,485	217
親会社株主に帰属する当期純利益	6,139	5,253	4,486	▲ 766

2. 健全性の状況（単体）

- ソルベンシー・マージン比率は、株価回復に伴い、その他有価証券評価差額金が増加したことなどから、前年度末に比べ22.7%ポイント上昇。

（単位：%）

	平成31年3月期	令和2年3月期	令和3年3月期	前年度末比
ソルベンシー・マージン比率	756.6	747.3	770.0	22.7Pt

（注）「連結」は、東京海上HD、MS&AD HD、SOMPO HDの3グループを集計。

「単体」は、東京海上日動、三井住友海上、あいおいニッセイ同和及び損保ジャパンの4社を集計。